

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本隆一郎	専門ゼミナールⅠ	<p>この授業は、3年生対象のゼミナールである。</p> <p>評価の平均点は4.9点であり、授業運営に関する評価はほぼ満点であった。今年度は、特に所属ゼミ生の発表も個人的かつ興味深いテーマのものが多く、議論が盛んであったり、多くのリサーチクエスチョンが生まれてきたことで、場が活性化していたためであると考えられる。専門ゼミナールは、教員が「わかりやすく」「一方向的」に伝える授業ではない。満足感を感じられたのは、各自が主体的に考え、場に参加したからであると考えられる。次年度も引き続き、自分の興味を深化させ、教わる場所ではなく大学という学究・研究する場所でなければ得ることのできない体験をしてもらいたいと思う。</p>
山本隆一郎	専門ゼミナールⅡ	<p>この授業は、4年生対象のゼミナールである。</p> <p>全体の評価は4.7点と高かったが、一部点数を下げた項目についてはゼミナール形式の授業に対してそぐわないもの（例えば教材のわかりやすさ）であったからではないかと考えられる。この授業は、主体的に自分の専門分野を探求するゼミナールである。自分から求めてくれれば、それに授業趣旨を踏まえたうえで最大限応えるのが教員の役割である。昨年の専門ゼミナールⅡの時よりも若干点数が向上したことは、それぞれのゼミ生さんが主体的に一生懸命取り組んだことが大きいと考えられる。昨年度も記載したが、専門ゼミナールでの情報の批判的検討や事象についての仮説の設定、実現可能な方法を考え問題解決に取り組む営みの真価は卒業後に確認できるのではないと思う。卒業生の生活に役立つことを期待する。今後も自分のゼミの専門性を高め、学生さんと研究活動を充実させていきたいと考えている。</p>
山本隆一郎	心理演習	<p>この授業は、3年次配当の公認心理師科目であり、少人数制の演習科目である。</p> <p>これまでに講義等で学んできたことを踏まえ、1年間かけて、心理面接やアセスメント、地域連携に演習や心理相談センターの見学実習演習を通じた体験的学習を行ってきた。授業の全体的な評価は4.9点と高かった。これまでの中でも最も高かった。</p> <p>毎回のように課題の提出があり、非常に負荷が高い科目であったがこのような評価を頂けたことは身の引き締まる思いである。以下、例年記載していることであるが、演習の授業は、講義と異なり、それぞれの学生の主体的な参加が重要になる。意義のあるものであると思えたとすれば、個々の学生の努力によるものであろうと思う。</p> <p>また、今年度は共同担当者の尾花先生とともに、体験的な学びの仕掛けをいくつかの場面で工夫をした（アセスメントにおける事前確率の更新という感覚をどう伝えるか？心理臨床実践に対するイメージの解像度をどう挙げていくかなど）。こうした工夫も一定程度、学生さんの授業評価に反映されたのではないかと考えられる。この学びの真価は、今後の心理実習や日々の自分の生活にどれほど生かされたかによって評価されるべきであると考えられる。今後も引き続き努力を続けていきたい。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本隆一郎	基礎ゼミナールB	<p>この科目は、1年生の必修科目であり、「江戸川大学の学生として」「人間心理学科の学生として」の学びの基礎を少人数制のゼミ形式で行う授業である。全体の平均値は4.9点と高い評価を頂いた。</p> <p>これまでも少人数制の授業では学生同士の相互作用やインフォーマルな場での交流の良好さが関係しているため、良い評価について考えることが少なかった。しかしながら、今年度は、心理学の学びの基礎を身につけること、具体的には、各種ソフトウェアの演習や科学的な報告のあり方についての自由記述での感想も散見された。数年前から、基礎ゼミナールの授業内容についてWGを形成して検討・改善を行ってきた成果が表れており、非常にうれしく思う。この授業の学びの真価は二年次以降の心理学の学びにどれだけ寄与したかに依存してくると思われる。授業で身につけたことを活かし、心理学の様々な領域の学びを深めてほしいと思う。</p>
水嶋陽子	高齢社会論	<p>全体として高い満足度が確認できるが、自由記述に「オンラインの通知が遅い」という指摘がある。大学の決められた期限内の通知であっても「遅い」と感じる学生がいることは、今後の参考にしたい。</p>
旭 彩希	専門ゼミナール	<p>今回の授業評価アンケートの結果について、全体としては全学平均と同等の評価を得ることができました。一方で、「評価基準の理解」「シラバスの確認」「受講態度」に関する項目については、やや平均を下回る結果となりました。この点については、授業初回での説明の工夫や、シラバス内容の周知方法、受講姿勢への働きかけなど、今後改善に努めてまいります。</p> <p>一方、自由記述では「卒業論文を頑張りたいと思えた」「テーマ決定に向けて丁寧に相談に乗ってもらえた」「授業が分かりやすかった」といった前向きな意見が寄せられました。学生の主体的な学びや卒業研究への意欲向上につながった点については、一定の成果があったものと受け止めております。</p> <p>今後は、学生が評価基準や授業の進め方をより明確に理解できるよう工夫するとともに、引き続き丁寧な指導と分かりやすいゼミ運営を心がけ、さらなる改善に取り組んでまいります。</p>
山本一樹	流通システム論	<p>日本の流通業は大きなイノベーションの最中であり、そのことを理解してくれている生徒さんも多いと感じる評価結果だと思います。よりわかりやすい内容でお伝えできるように努力します。</p>
吉田一康	企業と法Ⅱ	<p>全般的に、高い評価をして頂きましてありがとうございます。その中であって、設問17「学生の私語を注意するなどスムーズな授業の運営に努めていた」が4.5と相対的に低かったことから、基本的に静かなクラスだったので、更なる留意が必要と考えました。</p> <p>また、設問9「授業内容はわかりやすいものだった」が4.6と相対的に低かったことから、もっと分かり易くする説明する必要があると考えました。</p> <p>設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.3で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.6だった点については、引き続き、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを明示して、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。</p> <p>受講者に関しては、ほとんどの方が後ろに着席して、前列がわずかだったのは寂しかったのですが、授業態度は、驚くほど静かで真面目なものでした。御礼申し上げます。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
吉田一康	知的財産管理入門	<p>全般的に、高い評価をして頂きましてありがとうございます。その中であって、設問9「授業内容はわかりやすいものだった」と設問14「専門知識や専門用語の説明は分かりやすかった」が、ともに4.8と、相対的に低かった点については、もっと分かり易く説明しなければならないと考えました。</p> <p>設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.4で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が3.8と低かった点については、引き続き、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを明示して、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。</p> <p>受講者の授業態度は、真面目で熱心なものでした。御礼申し上げます。</p>
館林牧子	ジャーナリズム論	コメントありがとうございます。私の方の操作の不手際があり、皆さんにご迷惑おかけしました。次年度から改善に励みます！
館林牧子	新聞論Ⅱ	コメントありがとうございました！
館林牧子	マス・コミュニケーション演習H	コメントありがとうございました！
館林牧子	マス・コミュニケーション実習H	コメントありがとうございました！
山崎貞登	教育課程論	<p>「質問6 この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」の評価平均が2.6と、授業科目全体平均の2.8よりもさらに低かった。次年度は、予習や復習などの事前準備や復習に一層時間をかけるように、授業での指示や授業進行に改善と工夫を重ねていきたい。</p> <p>後期水曜日1限の開講で、特に冬期の12月と1月は1～数分間の遅刻者がいたが、他受講者から、教職に就く学生は時間厳守に心がける必要性が一層あり、授業者から教育者として厳しい注意をした方が良かった旨の自由記述があった、他受講者の迷惑にもなることから、次年度の授業では遅刻しないように厳しく指導するように改善したい。</p>
尾花真梨子	基礎ゼミナールB	<p>アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、心理学研究の基本的な考え方、研究の成果物である学術論文の分析的読み方や研究内容や成果の効果的なまとめ方としての図表の作成のルールや方法を体験的に学び、さらに、研究に用いられる各種ソフトウェアの使い方を体験し、2年次以降の専門的な心理学の学習や研究を進めていく上での技能を学習することを目的とした、少人数制のゼミナールです。評価平均も平均的であり、履修した皆さんにとって比較的満足度の高い科目であったと考えられます。その一方で、「6.予習・復習などにかかる時間」は低い値となりました。科目の性質上、予習を行うことは難しいこともあるかもしれませんが、学習した内容がその後の皆さんの大学生活と関連することが多いので、ぜひ積極的に振り返りをしてください。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
尾花真梨子	専門ゼミナールⅠ	アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、発達臨床心理学および学校臨床心理学領域への理解を深め、文献購読や研究計画書の立案を通して、自身の興味関心の整理や文献の批判的検討、4年次の卒業研究に向けた準備等を行うことを目的とした、少人数制のゼミナールです。プレゼンテーションとディスカッションを中心とした授業構成であり、履修している皆さんにとって負荷のかかる科目であったとは思いますが、評価平均値も高い値であり、比較的満足度の高い科目であったと考えられます。引き続き、一人一人が主体的・積極的に取り組めるような環境づくりや工夫をしていきたいと思えます。
専門ゼミナールⅡ	尾花真梨子	アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、発達臨床心理学および学校臨床心理学領域において設定した研究テーマに基づいて、文献の批判的検討に基づく研究デザインの検討力、データ収集に必要とされる知識や研究倫理の理解、データの解析に必要な知識や技術の習得、結果の解釈と考察に必要な知識と技能の習得、科学論文執筆に必要なライティングスキルやプレゼンテーション技能の習得を目的とした、少人数制のゼミナールです。それぞれが設定したテーマでの卒業論文の完成に向けて、多くの労力を割く必要がありましたが、評価平均は5.0でした。これは、ゼミの皆さんが2年間をかけて作り上げた関係性や環境に依拠する部分が多く、一人一人の意欲とあたたかさを反映した結果であったといえます。自由記述でも、「自分にとってとても学びやすい環境でした」「論文執筆に際して、とてもお世話になりました」などのコメントがあり、ゼミでの研究活動が充実していたことが窺えます。ぜひ研究を通して得たものを、生活や社会の中で積極的に活かしていってください。
尾花真梨子	児童心理学	アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、人間の生涯発達過程における子どもの心身の発達と適応問題に焦点を当て、子どもの発達に対する多面的な理解とさまざまな支援方法について理解することが目的となっています。今年度も多くの学生さんに履修していただき、概ね満足度が高かったことが窺える結果となりました。また、自由記述でも、「子どもたちの抱える問題に対して、私たちがどう対処すればよいかを探求することができた」「ここで学ばないとわからないことがたくさんあり、色々な知識を身につけることができた」などのコメントをいただきました。本科目は今年度が最後の開講となります。今後も子どもの発達の様相や彼らを取り巻く環境について、関心を持ち続けていただければ幸いです。
大塚紫乃	こども教材開発演習	自由記述欄に「先輩が実習で実際に行った活動などもやってみたかった」とコメントをいただきました。とても良いアイデアなので、実習で先輩が作成した指導案に沿った遊びの展開を体験する授業を計画していきたいと思えます。
渡邊 美紀子	心理的アセスメント	この科目は2年生の選択科目で、公認心理師の養成カリキュラムにおいて大学学部での履修が求められる科目です。他者を心理的に支援するために不可欠なアセスメントの知識と技術を学ぶために、ツールの理解、聞き取りの技術、倫理的態度など幅広い内容を、教員の臨床経験を交えて立体的に伝えましたが、説明が伝わりにくい点があったかもしれません。授業評価では、「話し方は明確だった」の項目で全学平均を上回りました。目に見えない心について扱う科目において、この点は特に留意していたところです。いただいたコメントや評価を活かし、次年度も精進いたします。ご受講ありがとうございました。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
渡邊 美紀子	心理的アセスメント（応用）	<p>本講義は2021年度以前の入学者対象の選択科目で、2025年度で最後の開講になる見込みです。「心理的アセスメント」の知識を応用するため、知能検査や性格検査の実習を取り入れました。少人数制を活かし、教員の臨床実践的な知識と技術を具体的に提示しながら講義を進めました。</p> <p>評価では、ほとんどの項目が最高評価（回答5）となり、個別対応が学びの深化に繋がったと考えております。学生のその姿勢に教員もまた深く学ぶことができました。いただいた評価を次年度の他の教科にも活かし、さらに充実した講義を目指します。ご受講ありがとうございました。</p>
西村律子	基礎ゼミナールB	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。本科目は、1年次配当のゼミナールで、特に後期に実施される本授業では、2年次以降の授業へスムーズに移行できるように、心理学研究に関わる基礎的なスキルを身に付けることを目的としています。全体の評価平均は4.0点を超えており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「総合的に考えてこの授業を後輩やほかの人に薦めたい」という項目の評価点が4.6と高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、本科目の重要性を理解していただけたことの反映だと思っています。その一方で、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか（2.7）」、「板書や機材を使った表示文字は見やすかった（3.9）」という項目の評価点についてはいずれも4点を下回っていました。このことは、授業外学習への繋がりの低さを示していますので、今後はシラバスに記載されている予習や復習の内容を授業内で確認するなどの対応をしたいと思います。また、資料や動画の表示についてはその都度学生さんに確認しながら見やすい提示にむけた対応をしたいと思います。</p>
西村律子	心理学実験Ⅰ（再履修）	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。本科目は、2年次配当の必修科目の再履修クラスです。全体の評価平均は4.0点を超えており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「授業中の自分の受講態度はよかった（4.4）」、「出席率はどうでしたか（5.0）」、「教員の授業に対する熱意を感じた（4.3）」という項目の評価点が比較的高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、演習科目である本科目において、毎回出席し、しっかりと受講されたことの反映だと思っています。また、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」については、平均4.0という評価点であり、全体の52%の学生さんは、週2時間以上、授業外学習を行っていたことがわかりました。本科目では、心理学研究のレポート作成に関わる基本的なスキルを身につけることを目標としていますので、授業に毎回出席し、さらに授業外学習をしっかりと行ってくださったというアンケート結果は、本科目の目標達成に向けて学生の皆さんが頑張ったことを示しているのだと思います。本科目は、再履修クラスなので、いろいろな理由で、前期の心理学実験Ⅰの単位修得ができなかった学生さんが、単位修得を目指します。そういった学生さんが、きちんとレポート作成のスキルを身に付けるとともに、受講姿勢も変わっていく様子を見ることができるとは担当教員としてうれしいことです。今後も学生さんがレポート作成のスキルを身に付けることができるよう、しっかり授業をしていきたいと思います。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
西村律子	専門ゼミナールⅠ	アンケートへの回答ありがとうございました。本科目は、3年次配当のゼミナールです。全体の評価平均は4.5点を超えており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「出席率はどうでしたか(4.9)」、「授業に参加した際は積極的にノートをとる、質問に答えるなどした(4.7)」、「授業を通して多くの知識を得ることができた(4.7)」、「授業は何を目的としているのかが、明確に理解できた(4.7)」、「教員の授業に対する熱意を感じた(4.9)」という項目の評価点が高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、演習科目である本科目において、毎回出席し、しっかりと授業内容を理解されたことの反映だと思っています。また、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」については、平均4.0という評価点であり、全体の70%を超える学生さんは、週1時間から2時間、あるいはそれ以上、授業外学習を行っていたことがわかりました。卒業研究に向けて、それぞれの学生さんが研究テーマ策定のために本科目を受講しているので、このアンケート結果は当然のことかもしれませんが、主体的に研究準備を行われる姿勢をうれしく思います。来年度も引き続き皆さんの研究のサポートができるよう頑張っていきます。
浅岡章一	神経・生理心理学	問8「この授業に対する自分の取組から考えて、自分はこの授業を評価する資格がある」および、問17「学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」の得点がやや低くなっていました。問17については、基本的にオンデマンドの授業ですので、「どちらともいえない」という回答が増えたことに起因していると思っています。ただし問8については、より学生の皆さんが積極的に授業に取り組める方法を模索する必要があると感じています。その他の点については、平均に近い評価を頂きました。オンデマンドという授業形態でも授業の質が確保できている事を確認でき安心していますが、今後はより魅力的な授業となるよう内容を工夫したいと思います。
浅岡章一	実験心理学特殊講義	ほぼすべての項目で、全学平均を上回る評価を頂きました。複数の教員を招いてのパネルディスカッションを展開したり、受講生の皆さんの研究計画ポスター発表があったりと、通常の座学とは異なる様々な取組をこの授業ではしていますが、それらの取組を学生さんに高く評価いただいている事を嬉しく思います。また、一部の授業回を除き、ハイフレックス型の授業形態をとった事も、好意的に評価いただけたようです。本学科の学術的特徴を活かした本学科らしい授業の一つだと思いますので、今後も魅力的な授業展開となるよう努力していきます。
浅岡章一	基礎ゼミナールB	問9以降の授業に対する評価は高かった一方で、問4、5、6などの予習復習への取組や授業へのコミットメントに関する自己評価に関する得点は低くなっていました。授業方法について高く評価いただいた事を嬉しく思う一方で、学生さんが授業外で行うべき学習の量や内容に関して、教員側の工夫が必要かもしれないと感じています。なお、自由記述については、何人かの学生さんから、各回の授業内容によってはオンデマンドやオンライン配信(Meet)などの活用があっても良いのではないかという提案もありましたので、学科において基礎ゼミ運営を考える際の参考とさせていただきます。
浅岡章一	実験心理学演習	予習復習に関する項目の得点が高く、学生さんが授業外でも、この演習授業に関する作業に熱心に取り組んでいたことが伺えました。一方で、問9、13、14など授業内容の理解のしやすさに関しては、やや評価が低くなっていました。授業内容が高度である事が関連していると思われそうですが、今後は難しい内容を解りやすく伝える工夫をしていきたいと思っています。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
浅岡章一	専門ゼミナールⅠ	全項目において、平均を上回る非常に高い評価を頂きました。予習復習の時間に関する質問の得点も高く、受講生の皆さんが一生懸命に研究に取り組んでいたことが分かります。担当教員として大変うれしく思います。一部、教室内の設備（ホワイトボードやWi-Fi）についてのコメントがありました。大学・学科とも連携し、より良い学習環境の整備にも努めていきたいと思ひます。
浅岡章一	専門ゼミナールⅡ	全体的に大変高い評価を頂きました。卒研は大変だったと思いますが、「楽しかった」という意見もいただきましたし、「総合的に考えて、この授業を後輩や他の人に薦めたい」という設問に対して極めて高い評価をいただいた事を嬉しく思っています。レベルの高い研究を楽しく行う事ができるようなゼミ運営に今後も努めたいと思ひます。
蛭原正貴	グループ体験	この科目は選択科目ではあるものの幼稚園教諭1種免許状の取得要件となっているため、科目の開講学年である2年生のほとんどの方が受講されていました。設問9から設問18の教員に関する評価平均としては、全学評価平均よりも0.1ポイント高い4.6ポイントとなっていました。「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」という項目については4.4ポイントと平均よりも0.1ポイント低くなっており、昨年度と同様、全体としては低い値となっていました。どうしても、グループワークを中心として行うため、授業冒頭と終わりの部分で解説を行っていましたが、理解を深める意味合いとしては弱かったのかもしれない。グループワークを行う意味を理解するためにも、教材・資料の提示の仕方について検討したいと思ひます。
蛭原正貴	身体表現の技術	この科目は保育士資格の取得要件となっているため、科目の開講学年である2年生のほとんどの学生が受講していました。2コマに分かれて授業を行ったため、設問9から設問18までの教員に関わる部分の評価平均は4.5ポイントと4.7ポイントとなっており、全学平均と同様、または0.2ポイント高い結果となっていました。昨年度と同様、「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」という項目がどちらも4.2ポイント、4.0ポイントと、全学平均よりも0.3~0.5ポイント低くなっていました。実技を中心とした演習科目であり、板書や機器を使うことがなかったため、質問の回答自体が難しかったかと思ひます。無理に使う必要はないと思ひますが、授業の内容理解が進みそうな場面においては、活用を検討したいと思ひます。
蛭原正貴	教育・保育実践演習	この科目は幼稚園教諭1種免許状及び保育士資格の取得要件となっているため、科目の開講学年である4年生のほとんどの学生が受講していました。設問9から設問18の教員に関する評価平均としては、4.5ポイントとなっており、全学平均と同様でした。4年間の総まとめとなる科目でもあることから、毎年授業内容に関して担当教員間で試行錯誤をしていますが、各学年の皆さんの学びが深まるよう、それぞれに適した内容を検討していきたいと思ひます。
松田稔樹	教育制度論と教育制度論 (初等)	前期の教育学概論と今回の授業と、全てを通じて結果を比較しながら、より効果的な授業になるよう、内容・対象者に応じた工夫も検討したいと思ひます。
野上玲子	スポーツと社会Ⅰ	アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。本授業は、現代社会学科の選択必修科目であり、1年生から受講できる科目となっています。そのため、基礎的な内容を中心に進めていることもあり、集計結果の評定平均は、5点満点中、4.6という高い評価をいただきました。コメント欄には、「毎回スポーツの色々なジャンルの改善点や環境面を学べて良かったです。楽しい貴重な授業でした」と書いていただき、今後もこのような受講生の学びを深められるような授業を目指して努めていきます。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
野上玲子	スポーツと社会Ⅱ	<p>アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。本授業は、現代社会学科の選択科目であり、他学科の学生も多く受講していました。2年生から受講できる科目となっているため、基礎的な内容に加え、スポーツの背景にある国際問題を中心に進めていきました。集計結果の評定平均は、5点満点中、4.7という高い評価をいただきました。コメント欄には、「スポーツがもたらす良いことや悪いことを多く学びました」と書いていただき、今後もこのような受講生の学びを深められるような授業を目指して努めていきます。</p>